平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上場会社名　株式会社 CDG　　上場取引所　東
コード番号　2487　URL　http://www.cdg.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 藤井　勝典
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役　(氏名) 大平 孝　TEL 06-6133-5200

四半期報告書提出予定日　平成25年11月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	4,550	3.7	284	△3.8	288	△4.3	177	△4.0
25年3月期第2四半期	4,388	△18.4	295	△40.1	301	△39.8	184	△37.9

(注)包括利益　26年3月期第2四半期　202百万円　(18.3%)　25年3月期第2四半期　170百万円　(△43.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	30.33	―
25年3月期第2四半期	31.12	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	5,533	3,542	64.0
25年3月期	5,598	3,522	62.9

(参考) 自己資本　26年3月期第2四半期　3,542百万円　25年3月期　3,522百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	25.00	25.00
26年3月期	―	0.00			
26年3月期(予想)			―	25.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	13.6	800	22.5	800	21.2	480	21.3	81.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	6,240,000 株	25年3月期	6,240,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	408,280 株	25年3月期	370,180 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	5,842,349 株	25年3月期2Q	5,928,262 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きは終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… **2**
(1) 経営成績に関する説明 …… 2
(2) 財政状態に関する説明 …… 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… **3**
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… **4**
(1) 四半期連結貸借対照表 …… 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
(継続企業の前提に関する注記) …… 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 10
(セグメント情報等) …… 10
(重要な後発事象) …… 10
４．補足情報 …… **11**
【生産、受注及び販売の状況】 …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間（平成25年４月１日～平成25年９月30日）の世界経済は、米国で雇用情勢や所得環境の改善を背景に景気の回復基調が継続するとともに、債務問題に端を発した景気低迷が続いていた欧州でも一部で回復の兆しがみられました。しかし、米連邦準備理事会による金融緩和縮小の先延ばしや中国をはじめとする一部の新興国で成長鈍化が長期化する等世界経済の先行き不透明感も依然残った状況となっています。この様な世界経済の中で、我が国経済は、日本銀行による金融緩和策や政府によるデフレ状況からの脱却と経済再生を促進するための政策への期待感を背景に円安株高基調で推移し、輸出関連事業を中心とした企業業績の改善や資産効果による個人消費の回復の兆しがみられました。

この様な経済環境のもと、当社グループが属するセールスプロモーション市場におきましては、業績向上効果が期待できることから需要は引き続き強く、順調に推移いたしましたが、競争環境が一層厳しさを増してきていることに加え、急速に普及するスマートフォンを活用したモバイルコンテンツによるセールスプロモーション手法など、多様化したセールスプロモーション手法への対応力が求められ、変化対応力と継続的機能強化が必要となる大変厳しい市場環境となっております。

当社グループでは顧客の営業上の課題に対応するマーケティング会社としてのサービスが提供できるよう、主力のセールスプロモーショングッズの供給に加え、ＰＯＰ分野、ＷＥＢ関連、イベントなど引き続き基本機能の強化及び拡充に努めました。特に、スマートフォンを活用したモバイルコンテンツによるセールスプロモーションへの取り組みとして、急速に利用者数が拡大している有名コミュニケーションツールを活用したセールスプロモーションを顧客に提案するなど、顧客ニーズへの対応力を高める動きを推進しました。また、当社の主力顧客である大手飲料会社、製薬会社でセールスプロモーションに対する政策変更などにより販売費が削減され、これらの業界への販売は伸び悩みや減少の難しい局面を迎えておりますが、従来当社が販売力の弱かった自動車業界や化粧品業界等へ販路を拡大するため、積極的かつ継続的に顧客にアプローチし、セールスプロモーションの企画提案を行ってきた結果、前期に引き続き好調に販売を伸ばしました。さらに、セールスプロモーション市場における景品分野に匹敵する市場規模をもつ企業向けユニフォームビジネスも順調に受注を獲得しており、新たな収益源として育ってきております。

この結果、当第２四半期連結累計期間における連結業績は、自動車業界や化粧品業界への販売拡大が大手飲料会社や製薬会社への販売の低迷を補い、売上高は4,550百万円（前年同期比3.7%増）と増収になりました。しかしながら、同業他社との価格競争などの競争環境の激化や原材料価格の高騰・円安による仕入コストの上昇から粗利率が低下したため、予算執行の厳格化を継続して販売費及び一般管理費の発生を抑制したものの粗利率の低下を補うことができず、営業利益は284百万円（同3.8%減）、経常利益は288百万円（同4.3%減）、四半期純利益は177百万円（同4.0%減）となりました。

なお、当社グループではセールスプロモーションの企画及び販売を行う単一事業分野において営業活動を行っておりますので、セグメント情報の記載は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

（流動資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産の残高は4,654百万円（前連結会計年度末4,766百万円）となり、112百万円減少いたしました。主な要因は、売掛金の回収が進んだことにより受取手形及び売掛金が262百万円減少したためであります。

（固定資産）

当第２四半期連結会計期間末における固定資産の残高は879百万円（同832百万円）となり、46百万円増加いたしました。主な要因は、保有する投資有価証券が株価の値上がりにより47百万円増加したためであります。

（流動負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債の残高は1,698百万円（同1,800百万円）となり、101百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が110百万円減少したためであります。

（固定負債）

当第２四半期連結会計期間末における固定負債の残高は292百万円（同276百万円）となり、16百万円増加いたしました。主な要因は、退職給付引当金が14百万円増加したためであります。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産の残高は3,542百万円（同3,522百万円）となり、20百万円増加いたしました。主な要因は、四半期純利益が177百万円となったものの、利益処分による配当を146百万円行ったことにより利益剰余金が30百万円増加したこと及び自己株式の取得により自己株式が35百万円増加したこと並びに保有する投資有価証券の株価の値上がりによりその他有価証券評価差額金が23百万円増加したことによるものであります。

（キャッシュ・フローの状況の分析）

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動による資金の増加354百万円、投資活動による資金の減少58百万円、財務活動による資金の減少181百万円等により、前連結会計年度末と比較して116百万円増加し、1,469百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において営業活動による資金の増加は354百万円（前年同期比52百万円の減少）となりました。主な要因は、仕入債務の減少額が110百万円、法人税等の支払による支出が94百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が295百万円となったことや売上債権の減少額が262百万円となったためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において投資活動による資金の減少は58百万円（同14百万円の減少）となりました。主な要因は、基幹システムの構築に伴い、無形固定資産の取得による支出が37百万円あったことに加え、保険積立金の積立による支出が12百万円、また、投資有価証券の取得による支出が11百万円あったためであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において財務活動による資金の減少は181百万円（同70百万円の減少）となりました。主な要因は、配当金の支払による支出が146百万円あったことと、自己株式の取得による支出が35百万円あったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

我が国経済は、日本銀行による金融緩和策や政府によるデフレ状況からの脱却と経済再生を促進するための政策への期待感を背景に円安株高基調で推移し、輸出関連事業を中心とした企業業績の改善や資産効果による個人消費の回復の兆しもみられ、今後の経済見通しにつきましても順調に推移していくことが見込まれる一方で、米国の財政問題や量的緩和の縮小時期が世界経済に与える影響や平成26年春の消費税増税による景気の腰折れリスク等、景気の先行き不透明感も依然として残っております。この様な状況下において、当社グループの当第２四半期の業績につきましては、業績予想と比して若干弱含みで進捗しておりますが、第３四半期に入り、12月納品案件を中心として引き合いも活性化していることから、平成25年５月９日に公表いたしました業績予想については変更ございません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,461,778	2,579,841
受取手形及び売掛金	2,103,617	1,841,563
制作支出金	82,694	93,969
製品	5,545	10,948
原材料	17,272	17,608
繰延税金資産	45,419	47,497
その他	51,723	64,319
貸倒引当金	△1,354	△1,187
流動資産合計	4,766,698	4,654,560
固定資産		
有形固定資産	228,390	220,168
無形固定資産	49,871	53,796
投資その他の資産		
投資有価証券	131,884	179,753
繰延税金資産	106,696	99,744
保険積立金	146,820	157,597
敷金及び保証金	131,246	130,922
その他	47,052	46,904
貸倒引当金	△9,730	△9,730
投資その他の資産合計	553,971	605,192
固定資産合計	832,233	879,157
資産合計	5,598,931	5,533,718

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,421,852	1,311,147
未払法人税等	94,896	130,707
賞与引当金	84,000	84,000
その他	199,309	172,832
流動負債合計	1,800,057	1,698,686
固定負債		
退職給付引当金	103,134	117,309
役員退職慰労引当金	173,600	175,455
固定負債合計	276,734	292,764
負債合計	2,076,792	1,991,450
純資産の部		
株主資本		
資本金	450,000	450,000
資本剰余金	56,456	56,456
利益剰余金	3,188,313	3,218,743
自己株式	△189,516	△224,720
株主資本合計	3,505,253	3,500,478
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,859	38,968
為替換算調整勘定	1,025	2,820
その他の包括利益累計額合計	16,885	41,788
純資産合計	3,522,139	3,542,267
負債純資産合計	5,598,931	5,533,718

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	4,388,061	4,550,503
売上原価	3,127,093	3,292,289
売上総利益	1,260,967	1,258,213
販売費及び一般管理費	965,230	973,831
営業利益	295,736	284,382
営業外収益		
受取利息	1,382	1,316
受取配当金	1,687	1,923
その他	3,246	1,935
営業外収益合計	6,317	5,174
営業外費用		
支払利息	82	45
自己株式取得費用	－	265
原状回復費用	264	184
貸倒引当金繰入額	150	－
その他	31	648
営業外費用合計	528	1,143
経常利益	301,526	288,414
特別利益		
投資有価証券売却益	9,784	－
保険解約返戻金	5,193	6,737
特別利益合計	14,978	6,737
税金等調整前四半期純利益	316,504	295,151
法人税、住民税及び事業税	122,900	125,876
法人税等調整額	9,097	△7,900
法人税等合計	131,998	117,976
少数株主損益調整前四半期純利益	184,506	177,174
四半期純利益	184,506	177,174

四半期連結包括利益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	184,506	177,174
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,085	23,108
為替換算調整勘定	△558	1,794
その他の包括利益合計	△13,644	24,903
四半期包括利益	170,862	202,078
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	170,862	202,078
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	316,504	295,151
減価償却費	14,084	10,587
無形固定資産償却費	8,945	7,289
投資有価証券売却損益（△は益）	△9,784	－
退職給付引当金の増減額（△は減少）	12,728	14,174
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	3,470	1,855
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△432	△166
賞与引当金の増減額（△は減少）	△10,870	－
保険解約返戻金	△5,193	△6,737
受取利息及び受取配当金	△3,070	△3,239
支払利息	82	45
売上債権の増減額（△は増加）	642,509	262,053
たな卸資産の増減額（△は増加）	10,614	△17,013
仕入債務の増減額（△は減少）	△191,998	△110,705
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△31,323	△13,492
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△90,708	4,003
その他	△4,008	1,049
小計	661,549	444,855
利息及び配当金の受取額	3,860	4,136
利息の支払額	△82	△45
法人税等の支払額	△257,490	△94,030
営業活動によるキャッシュ・フロー	407,837	354,916
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△69,450	△1,900
無形固定資産の取得による支出	△5,299	△37,957
投資有価証券の取得による支出	△937	△11,985
投資有価証券の売却による収入	21,461	－
ゴルフ会員権の取得による支出	△38	－
定期預金の預入による支出	△772,584	△804,219
定期預金の払戻による収入	771,189	802,584
保険積立金の積立による支出	△12,691	△12,325
保険積立金の解約による収入	7,462	8,285
敷金の回収による収入	23,478	1,251
敷金の差入による支出	△6,365	△2,208
その他	268	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43,506	△58,475

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△42	△35,204
配当金の支払額	△137,891	△146,745
自己株式の処分による収入	26,048	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△111,885	△181,949
現金及び現金同等物に係る換算差額	△558	1,936
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	251,886	116,427
現金及び現金同等物の期首残高	1,207,546	1,353,570
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,459,433	1,469,997

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社グループはセールスプロモーショングッズの企画・販売を行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

４．補足情報

【生産、仕入及び販売の実績】

当社グループは、専ら、ノベルティ・プレミアムグッズに代表されるセールスプロモーショングッズを企画・販売する単一事業分野において営業活動を行い、単一セグメントであるため、セグメント別の情報は記載しておりません。

① 生産実績

当社グループの販売するセールスプロモーショングッズは広範囲かつ多種多様であり、同様の製品であっても仕様が一様ではなく、またポケットティッシュ以外の受注商品の製作につきましては全て外注先に委託しております。なお、当社グループで販売するポケットティッシュについて、その多くを当社の連結子会社である㈱岐阜クリエートにおいて生産しておりますが、当社グループで生産しているポケットティッシュの生産実績を示すと、次のとおりであります。

品目	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）	前年同四半期比 （％）
ポケットティッシュ(千個)	74,966	109.9
合計(千個)	74,966	109.9

（注）　千個未満は切り捨てております。

② 仕入実績

当社グループでは価格競争力を強化するため、一部の商品について中国より直接購買を行っております。当第２四半期連結累計期間における、当社グループにおける国内での仕入実績及び中国からの仕入実績を示すと、次のとおりであります。

地域	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）	前年同四半期比 （％）
国内仕入(千円)	2,785,618	102.0
海外(中国)仕入(千円)	301,042	187.9
合計(千円)	3,086,661	106.8

（注）　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第２四半期連結累計期間における、当社分類による顧客所属産業分野別に販売状況を示すと、次のとおりであります。

分野	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）	前年同四半期比 （％）
衣食住・流通産業分野(千円)	2,429,144	92.2
情報・通信産業分野(千円)	1,481,550	123.2
金融・保険産業分野(千円)	295,149	123.5
その他(千円)	344,658	110.6
合計(千円)	4,550,503	103.7

（注）　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。